

平成22年度 第9回 (12月) 理事会議事録

- 日 時 平成22年12月9日(木) 午後6時30分～7時37分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、
荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、
栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、
事務(仲野)
- 欠席者 山田、山中監事
- 議 長 今井

【討議内容】

I. 行動報告 (11月分)

- 11月2日 精度保証施設認証会議
山西、増田
- 4日 支部長会
田畑、出野
- 5日 手話講習会
栗本
- 7日 大阪府放射線技師会 第21回学術集会
今井
- 8日 第30回近畿地区臨床検査大会
今井
- 8日 衛生検査所検査大会
荒木
- 9日 学術部会
山西、増田
- 9日 マタニティカーニバル2011 実行委員会
栗本
- 11日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、
清水、荒木、田畑、井戸田、出野、
山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、
増田、栗本監事、山中監事
- 13日 南支部自由集会
田畑、出野、増田、杉山
- 13日 近畿技会長・事務局長連絡会議
今井、運天、吉本
- 14日 大阪府柔道整復師会社団法人設立50周年
記念式典
今井
- 16日 渉外部会
清水、増田
- 17日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、山田、酒井、杉山
- 17日 情報組織部会
井戸田、酒井、杉山、山西
- 18日 地区事業部会
田畑、出野
- 19日 学術部会
高田、宮野、山西
- 19日 H I V 予防活動のための道路使用許可申請
運天
- 20日 愛知県臨床衛生検査技師会 血液検査講演会
増田
- 25日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、荒木
- 26日 H I V 予防活動のための道路使用許可受領
運天
- 27日 中央支部自由集会
田畑、栗本
- 27日 ISO研究会
井戸田、杉山、竹浦
- 29日 大阪府臨床検査所精度管理調査
運天

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・弁護士と10月1日、一般社団法人への移行認可申請の業務委託契約を交わした。
- ・HIV、STI予防啓発公益目的事業について35都道府県から受託申請があった。
- ・11月16日、高田会長より厚生労働省のパブリックコメントについての情報提供があった。
詳細は日臨技ホームページを参照、パブリックコメントの提出期限は12月14日とする。

2. 近臨技

- 11月13日に近臨技会長・事務局長連絡会議が開催された。
- ・会員管理システムソフトウェアについて、(有)エッチ・アンド・ティ社の担当者より説明があった。
- ・協議会構想については、新たに「在り方委員会」を立ち上げることとした。
メンバーは、各府県の事務局長と日臨技地区担当理事、取りまとめ役を山本副会長とした。

3. 事務局

〈総務部〉

- 11月17日に部会を開催した。
- ・新制度法人への対応について検討した。
- ・日臨技新体制への対応について検討した。
- ・大臨技総会について検討した。
- ・大臨技会長賞について検討した。
- ・大臨技行事スケジュール管理について検討した。
- ・大臨技ニュース11月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉

- 11月17日に部会を開催した。
- ・10月度収支決算書を作成した。
- ・日臨技へ10月分会費の送金を行った。

〈渉外部〉

- 11月16日に部会を開催した。
- ・手話講習会および講演会について準備を行った。
- ・12月7日開催の第4回合同フォーラム委員会について準備を行った。
- ・献血推進活動について準備を行った。
- ・平成23年度事業計画について討議した。

4. 事業局

〈情報組織部〉

- 11月18日に部会を開催した。
- ・技師長会(2月19日)について詳細内容の検討を行った。
- ・平成23年度事業計画について討議した。
- ・アンケート調査用紙の配布準備を行った。

〈地区事業部〉

- 11月18日に部会を開催した。
- ・施設連絡者会議は、平成23年1月22日(土) 14:30～17:00 病院年金会館にて開催される。
プログラムは、① 技師会報告 ② 特別講演として、阪大微生物病研究会の青木先生による「インフルエンザワクチンを中心とした本邦での予防接種の現状」とする。
- ・支部長会を11月4日に開催、平成22年度事業報告と平成23年度事業計画について討議した。
- ・11月13日に第28回南支部自由集会在開催され、参加者は124名であった。
- ・11月27日に第28回中央支部自由集会在開催され、参加者は50名であった。
- ・各支部のメーリングリストが完成した。

〈学術部〉

- 11月19日に部会を開催した。
- ・公益法人・一般法人に向けて討議した。

- 平成23年度事業計画について討議した。
- 会計処理に関して討議した。
- 大臨技事業の開催状況に関して討議した。

Ⅲ.他、報告

1.会員管理システムの進捗状況（吉本常務理事）

- 12月13日、(有)エッチ・アンド・ティ社より「レンタル版都道府県技師会事務処理システム」のソフトウェアの設置および操作説明が行われる。14日に兵臨技にも設置、交通費等は折半とする。

2.臨床検査賠償責任保険の進捗状況（運天副会長）

- 現在、順調に進んでいる。

3.パブリックコメントについて（今井会長）

- 日臨技の高田会長より、厚生労働省の「臨床検査技師に関する法律施行規則及び医療法施行規則の一部を改正する省令案」に関するパブリックコメントの募集についての情報提供があった。
- 今回、法案に始めて、「社団法人日本臨床衛生検査技師会」の会名が挿入される。

4.日臨技施設認証について（竹浦副会長）

- 一般施設認証の申請受付期限は、12月14日であり、「大臨技施設認証委員会」は、12月25日に開催される。現在のところ、申請書は届いていない。

5.渉外部から公益事業報告（清水理事）

①手話講演会

- 平成22年12月18日(土)14:00~16:00、大阪府社会福祉会館にて開催される。
- 講師は徳永京子先生、テーマは「医療の現場に活かすコミュニケーション」とする。
- 手話講演会に先駆けて行われた手話講習会の参加者は、11/5は23名、11/9は16名、12/3は9名であった。

②エイズ予防啓発活動

- 平成22年12月18日(土)11:30~14:00、大阪府社会福祉会館周辺(谷町6丁目周辺)で行う。
- エイズ予防啓発のリーフレットと油とり紙の配布を行う。

③合同フォーラム

- 平成23年1月15日(土)14:00~16:45、大阪府医師協同組合本館8階にて開催される。
- 12月7日の委員会において、演者の先生方を含め打ち合わせを行った。
- 今回レジメを作成し、チラシとともに府民に配布、近畿学会会場でも配布する。
- 地下鉄沿線案内、朝日新聞等(申請中)に掲載、空堀商店街でも広報を行う。

④献血活動

- 平成23年2月26日(土)10:00~16:00、難波グリーンガーデン周辺で行う。
- 血液センターより配車があり、献血ティッシュ・チラシの配布を行う。
- 新しい難波の献血ルームの広報も行う。
- 来年度以降も血液センターと交渉の上、難波を優先とした献血活動を行う予定である。

Ⅳ.議題

1.平成23年度事業について

- 12月22日の常務理事会に各部の部長も出席の上、平成23年度事業予算を検討する。
- 今後は、事業予算の仕分けによる公益事業比率の試算が行われ、定款変更へと進む予定である。

2.総会について（吉本常務理事）

①平成22年度第2回定期総会（平成23年度予算総会）

- 平成23年3月24日(木)19:00~20:30、大臨技事務所にて開催される。
- 感謝状表彰の推薦状は、1月6日までに運天副会長に

提出する。被推薦者がいた場合、1月13日の理事会後に表彰委員会を開催し審議する。

- 議案審議としては、「第3号議案 公益社団法人移行に関する件」、「第4号議案 日本臨床衛生検査技師会代議員選出の件」とする。

- 第一議長は渉外部より選出、第二議長は学術部の山内氏(市立豊中病院)とする。

②平成23年度第1回定期総会（平成22年度決算総会）

- 平成23年5月26日(木)19:00~20:30、大臨技事務所にて開催される。
- 第一議長は情報組織部より、第二議長は渉外部より選出する。
- 議事運営委員(3人)及び議事録署名(2名)は、総務・会計部より選出する。

- ③委任状の提出期限を3月3日とし、委任状数は、会員数の三分の二以上必要である。

- ④次回理事会において最終決定を行い、1月28日付け公文書にて会員に広報を行う。

3.事業重複防止対策案（吉本常務理事）

- 11月27日(土)に3行事が重なったこともあり、今後の防止対策として、大臨技ホームページの「会員専用ページ」上に「大臨技行事スケジュール管理」のページを設定する。
- スケジュール管理機能として、「大臨技ニュース3月号」に掲載される「年間行事予定表」を基本に、エクセル等で年間カレンダーを作成しアップする。
- 各部が、行事スケジュールが決まり次第、それに書き込む。
- 具体的な方法は、総務部会で再度検討する。

4.緊急検査部会について

- 9月18日開催の学術部講演会「緊急検査の進め方」のアンケート結果の報告として、「理解度」「業務に役立つか」「進行のスピード」「日当直中の不安」等、業務内容による違いはあまりなく、必要性を感じているという結果であった。
- 一般の方の参加を見込んだ公益性のある事業であるとも考えられる。
- 学術部事業と重複した部分もあるので、来年度は、会長直轄とした独立した部会として立ち上げ、事業の内容により、今後どのような位置づけにするか検討を行う。
- 12月22日の常務理事会までに、来年度の事業計画案と予算案の提出を行い、来年度の予算立てを行う。

5.その他

- 今年度の日臨技各賞(会長賞・功労賞・特別賞)受賞の推薦者については、該当者はいなかった。

V.後援申請

- 1.平成23年6月25・26日に開催される「マタニティカーニバル2011」の後援申請が承認された。
- 2.平成23年4月14日~16日に開催される社会福祉法人大阪府社会福祉協議会主催の「バリアフリー2011」の後援申請が承認された。